

令和 4 (2022)年度 施設関係者評価 認定こども園さつき幼稚園

1. 園の教育目標

- ・あかるく優しく元気に最後までがんばる子ども
- ・健康な子ども
- ・親や先生を敬う素直な子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した

学校評価の具体的な目標や計画に対しての評価

評 価 項 目	施設関係者評価	第三者評価
<p>・教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かされたか。</p> <p>・報告・連絡・相談事項があったら職員間でスムーズに伝達ができたか。</p>	<p>評点：B</p> <p>担任と補助教員の2人体制をとっているクラスでは、常に保育の振り返りを行い、良い点や改善すべき点などを話し合い、保育の向上に取り組んでいる。また、学年ごとに月案や週案作成や保育計画立案時に保育後よく話し合いをもっていた。運動会や発表会では、主任や上の先生に練習段階を見てもらいアドバイスを受ける機会を設けることで、客観的な意見も参考にして保育の向上に取り組んでいる。今後は、他のクラスや教員の指導風景を見て学び合う機会を設けるなど、園内研修の充実に取り組む。</p>	<p>総じて教職員はこどもの保育に熱心に取り組んでおり、園に活気があるように思える。教職員間の風通しもよく、話し合いもよく行われている。今後はさらに工夫をして、地域の子育ての中心として、あらゆる層の子育て中の親の要望に対応してほしい。</p>
<p>苦情処理への対応は充分だったか</p>	<p>評点： B</p> <p>本年度、大きな苦情はありませんでしたが、細かな苦情はいくつかあったが、その都度解決していった。</p> <p>園内研修にて苦情に取組みマニュアルに基づき対応を再確認しました。</p>	<p>大きな苦情が無かったものの苦情マニュアルを基に園内研修をしていることは評価できる。</p>
<p>子どもの虐待防止についての取り組みは充分だったか</p>	<p>評点： B</p> <p>子どもの虐待防止についてテーマに園内研修を行った。教職員全員の理解を深めた。虐待連絡窓口の子どもセンターから園児とその家族の情報について問い合わせがあった際に子どもの見守りをして、適切に対応をした。</p>	<p>子どもセンターと連携して対応しており、適切であると判断する。また、虐待防止の取り組みが園内で確立していることが評価できる。</p>

<p>安全管理体制の整備や安全管理についての理解を深められたか。</p>	<p>評点：A 遊具の安全点検や保育室の環境の危険なものはないかなど環境整備に努めた。 また、安全管理マニュアルを通して、日常の安全管理と天災時の安全管理の理解を研修や訓練で理解を深めることができた。</p>	<p>通常及び非常時の安全管理についての取り組みについてマニュアル化されており、また園内研修のテーマにもして、常時注意をはらっていることは評価できる。今後さらに内容を掘り下げ、実践的で質を高めていくよう努力してほしい。</p>
<p>子育て支援事業はきちんと行われていたか</p>	<p>評点：A 子育て支援事業としては、①親子の集い広場と②教育相談事業に力をいれてきた。今年度は、①は予定した水曜日に計画通り実施し、地域の子ども及びその保護者と相互交流を行ってもらった。②は水曜日の1時間地域の保護者からの子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供及び助言等を行なった。</p>	<p>水曜日に子育て広場が開かれ、地域の多くの親子が参加している。また、別に子育て相談の機会も設けられており、子育て家庭には心強いと思える。</p>
<p>小学校との連携は充分取れていたか</p>	<p>評点：B 校区の小学校とは、毎年1月に行われる教職員との情報交流、引継ぎ会議をし、2月には年長児と小学1年生との交流会で密接な連携をとっている。 しかし新型コロナウイルス感染防止のため子ども同士の交流会は今年度も中止となってしまったが、今後も連携していく余地はないか検討していきたい。</p>	<p>就学前の子どもたちと就学後の子どもたちを連続して見守っていくことの大切さがいわれている。こうした中で今後も出来るだけ、小学校と幼稚園、保育園が相互交流して連携して子どもの育ちに関わってほしい。</p>
<p>教職員の研修は充分行われていたか</p>	<p>評点：A 年間計画どおり園内研修を行っており、外部研修にも全教職員を派遣した。園内研修では各テーマの取り組み方針やマニュアルを題材に内容を十分理解するようにまた実戦で使えるように全員参加の研修を心掛けている。</p>	<p>園内研修が行われており評価したい。幼児の保育教育に熱心な人材が必須であり、今後とも人材の育成に努力してほしい。</p>